



支援団体名

益城町地域支え合いセンター

役職・氏名

センター長 とよやま けんご 遠山 健吾 さん
 主任生活支援員 まえだ なおはる 前田 直治 さん、ぐんじ ゆき 郡司 由紀 さん



地域支え合いセンターのメンバー（前列左から2人目が遠山さん、同5人目が郡司さん、同左端が前田さん）

Interview

□益城町地域支え合いセンターとは

平成28年の熊本地震で被災された方々が、安心した日常生活を取り戻し、生活再建ができるよう、見守りや生活支援、地域交流などの総合的な支援を行うことを目的として設置されました。

□業務はいつから行っていますか

町から町社会福祉協議会が委託を受け、平成28年10月1日に益城町地域支え合いセンターとして業務を開始しました。現在87人が「生活支援員」として業務を担当しています。

県内では14の市町村が同時期に業務を開始しましたが、平成29年7月と8月には、さらに3つの市が業務を開始しています。これは、益城町などの被害が大きかった地域の方々が、みなし仮設として各市内の民間賃貸住宅に居住していることを踏まえ、広域的な支援を行うことができるようにと開始されたものです。

□活動の内容は

当センターは、応急仮設住宅全般と半壊以上の自宅にお住まいの方を対象に支援活動を行っています。自宅にお住まいの方の支援においては、県内の他の市町村でも少しずつ取り組みが始まっているとのこと。

なお、社会福祉協議会では、地震発生当初から町の避難所等で支援を行い、被災者の方々と信頼関係

を築いてきた団体に参加してもらうことで、住民に寄り添った支援ができるよう、範囲を分担して活動を行っています。（下記参照）

活動の範囲は違いますが、活動状況把握や情報共有を図るため、毎月数回の定期的な会議等を開催しています。

□被災された方々に伝えたいことはありますか

前田さん: 当センターの業務を開始した頃と比べると、住民の気持ちに受け入れる余裕のようなものが出てきたと感じることが多くなりました。発災から2年が経過し、自宅の再建ができた方は、仮設住宅から元の地域へと帰って行かれますが、周りの家はまだ再建ができていないところも多く、寂しさを訴えられることがあります。そんな時は地域サロンへのお誘いなど、できるだけ住民が寂しい思いをしないよう配慮しています。

遠山さん: 小さな困りごとなど、何でも相談して欲しいし、地域支え合いセンターは、町や他のさまざまな支援団体等とのつなぎの役目も担っていますので、お気軽にご相談いただきたいです。

郡司さん: 定期的な訪問を続けることに感謝されたり、時には1時間以上にわたりお話しされる方もいて、そんな時、地域支え合いセンターが必要とされると感じ、喜びにつながります。

インタビュー

益城町地域支え合いセンターの役割分担（担当範囲▶団体等名、連絡先）

- テクノ仮設団地・福富仮設団地
▶キャンパス熊本 ☎080-5281-9966
- 木山仮設団地 ▶熊本YMCA ☎285-1717
- 赤井・飯野小・小池島田・東無田・櫛島・広崎・惣領・馬水西原・馬水・馬水東道・安永・安永東・木山上辻・平田・津森仮設団地
▶ライフサポートチーム ☎090-6896-5816
- みなし仮設住宅にお住まいの方
▶minori（旧よか隊ネット益城） ☎273-8833
- ご自宅にお住まいの方 ▶益城町社会福祉協議会 ☎289-6092

現在、(株)井関熊本製造所グラウンド内の仮設事務所で事業を行っている益城町社会福祉協議会は、旧益城中央小学校跡地への移転を予定しています。

圏生活再建支援課住まい再建支援係
☎289-1400